

令和7年度 日臨技近畿支部 微生物部門秋季研修会

主 催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
実務担当技師会：公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

【テーマ】 その血培、ただの“陽性”で終わらせない！～検査結果×伝える力で診療に貢献～

【日 時】 令和7年12月6日（土）、7日（日）

【開催場所】 関西医療大学 (<https://www.kansai.ac.jp/info/access/>)

〒590-0433 大阪府泉南郡熊取町若葉2丁目11-1

【受講料】 12,000円（日臨技非会員 20,000円）

【定員】 56名（8名×7班）

【日 程】

《1日目》 12月6日（土）

10:30～11:00 受付

11:00～11:05 開講式／オリエンテーション

11:05～12:40 実習1／グループディスカッション1 グラム染色と主治医への報告

12:50～13:35 ランチョンセミナー：感染症診療の実際～診療の進め方と検査結果の活用～
講師：大阪市立十三市民病院 感染症内科 笠松 悠

（昼食をとりながらの講義です。昼食は自費となります。）

13:45～14:15 講義1：質量分析装置と遺伝子検査装置の基礎

講師：松下記念病院 前田 和樹

14:15～17:00 実習2：血液培養陽性ボトルからの直接同定

MALDIバイオタイパー（BD）、FilmArray（ビオメリュー）、

GeneXpert（ベックマン・コールター）を使用

17:00～17:20 講義2：血液培養陽性時の菌種同定～治療に繋がる効果的な運用

講師：公立那賀病院 口広 智一

《2日目》 12月7日（日）

9:00～9:20 講義3：患者背景の読み方・結果の活かし方

講師：滋賀医科大学医学部附属病院 木下 愛

9:20～9:40 講義4：注意すべき検出菌～この菌（感染症）みたら気をつけろ！～

講師：松下記念病院 大友 志伸

9:40～10:40 グループディスカッション2 菌種同定から何がいえるか

10:40～11:00 講義5：実習まとめと各種バンドルについて

講師：大阪公立大学医学部附属病院 仁木 誠

11:00～12:00 特別講演 薬剤感受性検査結果の読み方と治療への活かし方

講師：京都橘大学 中村 竜也

12:00～12:05 閉講式

12:05～13:00 解散 （機器見学は自由）

【ねらい】

微生物検査結果を感染症診療に繋げることは診断支援（DS）実践において非常に重要です。特に、血液培養陽性時の微生物検査の情報は治療方針に大きく影響します。血培陽性時の報告をただ単に結果だけとするのか、付加価値をつけて報告するのかで検査室の治療貢献度も大きく変わってきます。本研修では症例をベースにグラム染色判明時、菌種判明時のそれぞれのタイミングでどういった情報を臨床医へ伝えれば治療に貢献できるかを班でディスカッションする企画を準備しています。また、近年質量分析装置や各種遺伝子検査装置により血培陽性時に多くの情報を得ることができます。その情報をどう活かしていくかも併せてディスカッションできればと考えています。本研修では、実際に質量分析装置や各種遺伝子検査装置を実際に使用します。これらの装置をまだ使用したことがない方、今後導入予定の方、導入はしているが上手く活用できていない方など、多くの方のご参加をお待ちしております。

【申込み方法】

日臨技会員の方は、HPより申し込みしてください。（10月1日よりWEB申し込みの受付予定）
非会員の方は下記事務局宛にE-mail（携帯アドレスは不可）にて、件名に“令和7年度日臨技近畿支部微生物部門秋季研修会参加申し込み”と記載し、※施設、氏名(ふりがな)、微生物検査経験年数、電話番号、使用機器の有無（質量分析装置：FilmArray：GeneXpert：）、懇親会参加希望の有無を送信してください。申し込み後、4日以内に返信がない場合には、電話にてお問い合わせください。

【申し込み期間】

受付開始は、令和7年10月1日（火）～11月21日（金）です。
当日の持ち物、会場へのアクセス、懇親会などについては、申込者に後日詳細をメールにて連絡いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【研修会事務局】

〒570-8540 大阪府守口市外島町5-55

松下記念病院 診療技術部 臨床検査技術室

担当者：大友 志伸 TEL:06-6992-1231 E-mail:shinobu19820302@yahoo.co.jp